



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)日照電機製作所 工場	階数	地上1階
建設地	札幌市東区北丘珠1条3丁目657-13	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	46 人
建物用途	工場	年間使用時間	2,650 時間/年(想定値)
竣工年	2020年3月 予定	評価の段階	実施設計段階評価
敷地面積	4,908 m ²	評価の実施日	2019年12月5日
建築面積	2,700 m ²	作成者	
延床面積	2,700 m ²	確認日	2019年12月6日
		確認者	

「配慮シート」に
外観バースを張り付けて下さい。

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.5 ★★☆☆☆ **B-**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 97%
③上記+②以外のオンサイト手法 97%
④上記+オフサイト手法 97%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 一次エネルギー消費量の評価
建物全体の[BEI][BEIm]= 0.94

2-5 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 2.3**

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.2

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 2.6**

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.7

3 設計上の配慮事項	
<p>総合 工場の用途ではあるが、断熱サンドイッチパネルの外壁、断熱材付きの屋根材を用い、建物全体での断熱性能への配慮を行った。</p>	<p>A 省エネルギー 建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律を遵守した設計とした。</p>
<p>B 省資源等 過剰な内装工事を行わず、建物のライフサイクルコストに配慮した設計とした。</p>	<p>C 緑化 車両の出入りの邪魔にならない範囲で、道路面に沿った植樹配置を考慮した。</p>
	<p>D 雪処理 屋根からの落雪も敷地内に堆積できるように、隣地境界線からの十分な離れ寸法を確保した。</p>

4 ほかの認証・評価制度の利用	
(財)建築環境・省エネルギー機構のCASBEE認証	なし
BELS認証	なし
LEED認証	なし
上記以外の認証・評価制度の利用	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

CASBEE札幌2016(ver.1.4)
 (仮称)日照電機製作所 工場

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.4)
 欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.3
Q1 室内環境					0.30			2.3
1 音環境				1.0	0.15			1.0
1.1 室内騒音レベル				1.0	0.40			
1.2 遮音				1.0	0.40			
1 開口部遮音性能				1.0	0.60			
2 界壁遮音性能				1.0	0.40			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-			
1.3 吸音				1.0	0.20			
2 温熱環境				2.6	0.35			2.6
2.1 室温制御				3.0	0.50			
1 室温				3.0	0.38			
2 外皮性能	省エネ			3.0	0.25			
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38			
2.2 湿度制御				1.0	0.20			
2.3 空調方式				3.0	0.30			
3 光・視環境				1.8	0.25			1.8
3.1 昼光利用				1.8	0.30			
1 昼光率				1.0	0.60			
2 方位別開口					-			
3 昼光利用設備	省エネ			3.0	0.40			
3.2 グレア対策				1.0	0.30			
1 昼光制御	省エネ			1.0	1.00			
2 映り込み対策					-			
3.3 照度				2.0	0.15			
3.4 照明制御				3.0	0.25			
4 空気質環境				3.1	0.25			3.1
4.1 発生源対策				4.0	0.50			
1 化学汚染物質			F☆☆☆☆材の使用	4.0	1.00			
4.2 換気				3.0	0.30			
1 換気量				3.0	0.33			
2 自然換気性能				3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33			
4.3 運用管理				1.0	0.20			
1 CO ₂ の監視				1.0	0.50			
2 喫煙の制御				1.0	0.50			

Q2 サービス性能			0.30	-	-	2.4
1 機能性			2.4	0.40	-	2.4
1.1 機能性・使いやすさ			2.3	0.40	-	
1	広さ・収納性		3.0	0.33	-	
2	高度情報通信設備対応		1.0	0.33	-	
3	バリアフリー計画		3.0	0.33	-	
1.2 心理性・快適性			2.0	0.30	-	
1	広さ感・景観 (天井高)		1.0	0.33	-	
2	リフレッシュスペース	1%以上の休憩室を確保	4.0	0.33	-	
3	内装計画		1.0	0.33	-	
1.3 維持管理			3.0	0.30	-	
1	維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	
2	維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	
2 耐用性・信頼性			2.6	0.30	-	2.6
2.1 耐震・免震・制震・制振			3.0	0.50	-	
1	耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	
2	免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	
2.2 部品・部材の耐用年数			2.9	0.30	-	
1	躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	省資源	2.0	0.20	-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	省資源	2.0	0.10	-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	省資源	3.0	0.10	-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	省資源	4.0	0.20	-	
6	主要設備機器の更新必要間隔	省資源	3.0	0.20	-	
2.4 信頼性			1.2	0.20	-	
1	空調・換気設備		1.0	0.20	-	
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	
3	電気設備		1.0	0.20	-	
4	機械・配管支持方法		1.0	0.20	-	
5	通信・情報設備		1.0	0.20	-	

3 対応性・更新性					2.3	0.30		-	2.3
3.1 空間のゆとり					2.2	0.30		-	
1 階高のゆとり					1.0	0.60		-	
2 空間の形状・自由さ				大空間の工場ブース	4.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり					2.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性					2.8	0.40		-	
1 空調配管の更新性				工場内天井仕上なし	4.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性					1.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性					3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性					3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性					3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.40		-	2.2
1 生物環境の保全と創出			緑化		2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			緑化		3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮					1.5	0.30		-	1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			雷処理		1.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			省資源 緑化		2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性						-		-	2.6
LR1 エネルギー						0.40		-	2.5
1 建物外皮の熱負荷抑制			省エネ			-		-	-
2 自然エネルギー利用			省エネ		3.0	0.13		-	3.0
3 設備システムの高効率化			省エネ	[BEI][BEIm] = 0.94 -	2.3	0.63		-	2.3
4 効率的運用					3.0	0.25		-	3.0
集合住宅以外の評価					3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング			省エネ		3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制			省エネ		3.0	0.50		-	
集合住宅の評価						-		-	
4.1 モニタリング			省エネ			-		-	
4.2 運用管理体制			省エネ			-		-	
LR2 資源・マテリアル						0.30		-	2.6
1 水資源保護					2.2	0.20		-	2.2
1.1 節水					1.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減					2.6	0.60		-	2.6
2.1 材料使用量の削減			省資源		2.0	0.11		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			省資源		3.0	0.22		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			省資源	-	3.0	0.22		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			省資源	-	1.0	0.22		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			省資源		-	-		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			省資源	躯体+軽量鉄骨+仕上	4.0	0.22		-	

3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70		-	
1	消火剤	省資源		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)	省資源		3.0	1.00		-	
3	冷媒	省資源		-	-		-	
LR3 敷地外環境				-	0.30		-	2.7
1 地球温暖化への配慮		省資源	省エネ適判 一次エネルギー消費量(照明設備)[BEIm]0.94	3.1	0.33		-	3.1
2 地域環境への配慮				2.0	0.33		-	2.0
2.1 大気汚染防止		省資源		3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善		省資源 悪化 害処理		1.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減	省資源		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制			3.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制	省資源 害処理		3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33		-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40		-	
1	騒音			3.0	1.00		-	
2	振動			-	-		-	
3	悪臭			-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40		-	
1	風害の抑制			3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制			1.0	-		-	
3	日照障害の抑制			3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70		-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	



■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2016(ver.1.4)

1 建物概要		BEE	0.5	BEEランク	B ⁻
建物名称	(仮称)日照電機製作所 工場				
建物用途	工場				
延床面積	2,700.0 m ²				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート	
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	★★★★☆	<p>省エネルギー性能 5.0 4.0 3.0 2.0 1.0 0.0</p> <p>雪処理 省資源等への取組 緑化への取組</p> <p>★1=スコア(最低点~最高点)20%以下 ★2=スコア(最低点~最高点)20%~40%以下 ★3=スコア(最低点~最高点)40%~60%以下 ★4=スコア(最低点~最高点)60%~80%以下 ★5=スコア(最低点~最高点)80%以上</p>
	省資源等	★★★☆☆	
	緑化	★★★☆☆	
	雪処理	★★★★☆	

3. 重点項目のCASBEEスコア					
A 省エネルギー (最高点 22.3 最低点 6.7)				合計	11.2点 /22.3点
Q1 温熱環境	スコア	0.4 /0.7	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	0.0 /0.0
Q1 光・視環境	スコア	0.5 /1.6	LR1 自然エネルギー利用	スコア	1.5 /2.5
			LR1 設備システムの高効率化	スコア	5.8 /12.5
			LR1 効率的運用	スコア	3.0 /5.0
B 省資源等 (最高点 24.6 最低点 7.6)				合計	12.7点 /24.6点
Q2 耐用性・信頼性	スコア	0.6 /1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	4.9 /9.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.2 /3.0	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	1.3 /2.1
			LR3 地球温暖化への配慮	スコア	3.1 /5.0
			LR3 地域環境への配慮	スコア	1.6 /4.4
C 緑化 (最高点 19.5 最低点 3.9)				合計	8.9点 /19.5点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	2.4 /6.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	0.5 /2.5
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	4.8 /8.0			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.2 /3.0			
D 雪処理 (最高点 3.0 最低点 0)				合計	1.0点 /3.0点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.0 /1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	1.0 /2.0

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■重点項目の**最高点**は、各評価項目で**レベル5**で評価された場合の点数
 ■重点項目の**最低点**は、各評価項目で**レベル1**で評価された場合の点数